

2年生学年だより

令和8年3月24日(火)
島本町立第二中学校
校長 小林 智
2年生 学年グループ

4月から最終学年です!

「自分もまわりも大切に、みんなで楽しめる48期生」

あっという間に3学期も終わり、4月から3年生になります。3学期で特に印象に残ったのは「3年生を送る会」。3年生のためにみんなが一致団結して送り出す姿が印象的でした。思いは確実に伝わったはず。1年後、みんなは3年生として参加します。胸を張って参加できるような1年を過ごしてほしいです。

さて、この1年間振り返ってどうでしたか?自分自身成長できましたか?仲間と協力できましたか?先生たちは確実に成長できていると感じます。そして仲間との絆もより深まったと感じます。この1年のみんなの伸びしろは想像以上です。自信にしてください。3年生になったらもっと成長した姿を見られることを期待しています。受験・行事、みんなの中で楽しみや不安が入り混じっているかと思います。君たちなら大丈夫です。どんな時でも楽しみ、どんなことでも乗り越えていけると信じています。4月7日から新たなスタートを切っていけるよう春休みを過ごしてください。



大盛況!2年生最後の学年レク

3月19日(木)3・4限に学年レクを行いました。「しっぽとり」「フリースロー対決」「ボール運びリレー」を各班で分かれて競技を行い、「バレーボール」はクラスで4チームに分かれて試合を行いました。どのクラスも白熱した試合ばかりで、仲間のことを一生懸命応援する姿も印象的でした。3学期、1年の集大成としてとても盛り上がりのあるレクになりましたね。3年生でもいっぱい思い出を作りましょう!

写真

個人情報保護のため、写真の掲載は控えさせていただきます。

4月当初の予定

4月7日(火) 9:00 旧クラス(2階)集合 服装:制服

時程

- ・9:05 クラス発表⇒教室移動・新クラスでHR
- ・10:00 下校予定

☆クラブの部長⇒被服室集合:部長会議・生徒会オリエンテーションの準備

☆生徒会本部役員・各委員長⇒生徒会室集合:生徒会オリエンテーションの準備

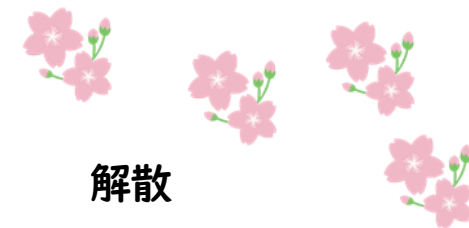
持ち物:上靴・体育館シューズ、プリント類を入れるファイル、かばん、筆記用具

4月8日(水) 10:30 新教室 集合 服装:制服

※入学式があるため、10:15~10:30の間に静かに登校すること!!

時程

- ・10:30 登校(教室待機)
- ・10:45~ 始業式・着任式
- ・11:05~ 特活
- ・11:35 解散



持ち物:エプロン(給食当番)・雑巾2枚

部落問題学習

2年生では2月末から4時間にわたって部落問題学習を行いました。この学習を通して差別の原因や現状を知り、考えを深めることで、差別を身近な問題としてとらえることができました。また、「差別することはおかしいことで、なくしていかなければいけない」「差別は人間が作り出したものであるから、人間の力でなくすことができる」という意識を持ち、性別や人種、出身などの属性にとらわれることなく、相手を一人の人間として接することができる大人に成長してほしいと思います。

講演会では、実際の体験に基づく内容にみんなも真剣に話に聞き入っていました。「現実には差別があること」「その差別に気づくことが大切であること」「差別は決して他人事ではないこと」など、様々なことを学びました。

裏面に、部落問題学習を通して生徒の振り返りを一部抜粋・要約して紹介します。

○差別をなくすためには、自分の価値観だけが正解だと思わないように、いろいろな考えを知り少なくとも理解できるようにすることがすぐできることだと思った。差別をしている人に注意できたらすごいけれど、できなくても注意している人を支え、間違っていることは間違っていると伝え続けることが大事。そして、間違いに気づくために、日頃から知識を身につけ、相手と自分の気持ちに対して深く考えてみるのがわかった。今度は、自分が家族とかに話して知識を広めて、ちょっとでも他人事って考えを減らしたい。

○年の小さい弟が特撮ヒーローにはまって見ていた時に「男の子みた〜い」といわれたり、弟がピンクの色は女の人の色と認識していたりして固定観念や偏見を持ち出しているのを見ると、そうだったのは偏見で誰が何を好きでもいいんだよと教えることも身近なところからできることだなと思いました。

○部落問題とはどういうものなのか、どうしてそんなことが起きるのか、理解することができた。今までにどれだけの人が差別されてきたのかや今も続いていることを知って、部落問題だけではないけど、相手がどういう気持ちになるのか、無意識の発言が差別的な発言になっていないかなど自分の言葉一つ一つを考えてみることも必要だと思った。また、日本だけでなく、世界中でどういう問題が起きているのか知ることも大切だと思った。

○差別問題は他人事ではなく、自分でも動けることは動いていくことが大切だと知ることができたので、これからは動ける場面では動いていきたいと思った。動かないで後悔するのは私だと思うので、自分が誇れる自分でいられるように日頃から頑張っていきたい。

○違いを認めて人をバカにしたりしない社会になってほしいと思いました。人は違いがあるからこそ楽しいということを分かってほしいです。

○差別に出会ったときに、注意できる人になりたい、また、それを続けられるようになりたい、自分たちが大人になった時、差別を少なくしていけるように頑張っていきたいと思った。自分が加害者になってしまわないように今からしっかり人権について学習しておきたいと思った。

○中学生で部落問題のことを知って学んで深められたことで、何も知らずに差別する側にならずに、おかしいと思うことができて良かったと思いました。間違った認識を減らして、お互いに認め合えるような世界にするために、今後も正しい情報の発信が大切だと感じました。

○自分の小さな言動から傷つく人がいるかもしれないし、差別につながることもあるかもしれないから、自分の言葉遣いに気を付けて、もし、友だちがそんな言葉を使っていたら注意をし合っていくことが自分にできる小さなことだと思った。

○差別をなくすっていうことは、とても難しいことだと分かった。無意識に人を傷つけてしまっているかもしれないし、注意しようとしても怖くてできないとか難しいと分かった。お互いの違いを認め合い理解し合うことが大切で、差別をなくすために自分を見直すことから始めていこうと思った。

○現実には差別があり、差別発言は絶対だめだし、している人がいたら「おかしい」ということに気づいて注意するなど、何か行動に移す、そして、部落について理解していない人がいたら、説明し続けることが大切だということも学んだ。差別をなくすために、自分のできることから行動に移す、「おかしい」と気づく、自分をみなおす、違いを認める、SNSの発言に気をつけるといいということも知れた。

○本当のことを何も知らなくて、間違っている情報のせいで、もしかしたら誰かのことを差別して傷つけてしまっているかもしれないということが分かった。現実にはまだ差別があるけど、おかしいということに気づくこと、自分自身を振り返ること、一人ひとりの違いを認めること、言葉を選んで使うことが大切だと分かった。たくさんの方が他人事ではなく身近な事として考えられるようになったら良いなと思った。